

平成27年度 奈良市の

わかりやすい 予算書

市民のみなさんから
お預かりしているお金の使い道などを
わかりやすくご説明します。



奈良市のわかりやすい予算書

平成24年度から、予算の概要をわかりやすく解説した「奈良市のわかりやすい予算書」を発行しています。市役所が法律に沿って作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいてわかりにくい作りとなっているため、この冊子では、表やグラフを交えながらわかりやすくお知らせすることを心掛けています。



この「わかりやすい予算書」を通じて、より多くのみなさんに奈良市の予算に興味をもっていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

奈良市長 仲川 げん



目 次

基礎知識編	2
歳 入 編	4
歳 出 編	6
主要事業編 27年度施策	
・観光を中心とした地域の魅力・経済の向上	8
・安心して子育てのできる環境づくり	11
・安心・安全で住民の活力あふれるまちづくり	12
資 料 編	16

基礎知識編

予算についての基本的な疑問にお答えします。

Q

そもそも、予算って何ですか？

A

予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q

予算はどうやって決まるのですか？

A

市長がつくった予算案が、市議会の審議と議決によって予算として成立します。

市役所の担当部署が、市民のみなさまからの意見や要望を聴き、1年間の行政サービスを検討します。市長は、各担当部署の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで、市議会の議決により予算を決めます。



Q

予定外のお金が必要になったときは？

A

予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、市議会へ提出します。

自然災害などの影響で、当初の見積もりでは想定していなかった経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案をつくり、市議会へ提出します。

ポイント

- ①収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。
- ②最初に決める一年間の予算を「当初予算」、年度の途中で予定外の支出に対応した予算を「補正予算」といいます。



平成27年度の奈良市の予算は？

A

一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計をあわせると、2,327億4,523万円になります。

一般会計 1,273億円

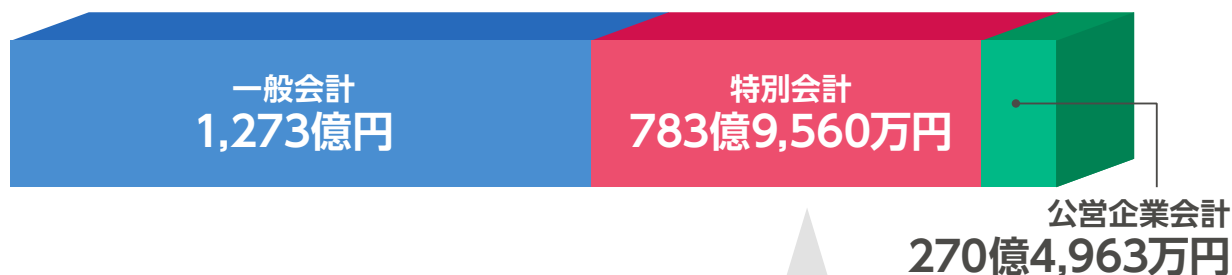
・福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計 783億9,560万円

・特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など奈良市には10の特別会計があります。

公営企業会計 270億4,963万円

・自治体が運営する企業の会計です。水道事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計（市立病院）があります。



特別会計内訳

国民健康保険	425億円
介護保険	269億5,100万円
後期高齢者医療	52億9,400万円
土地区画整理事業	25億8,200万円
その他	10億6,860万円

ポイント

- ③その他の特別会計には、「住宅新築資金等貸付金」「市街地再開発事業」「公共用地取得事業」「駐車場事業」「母子父子寡婦福祉資金貸付金」「針テラス事業」の各会計があります。

歳入編

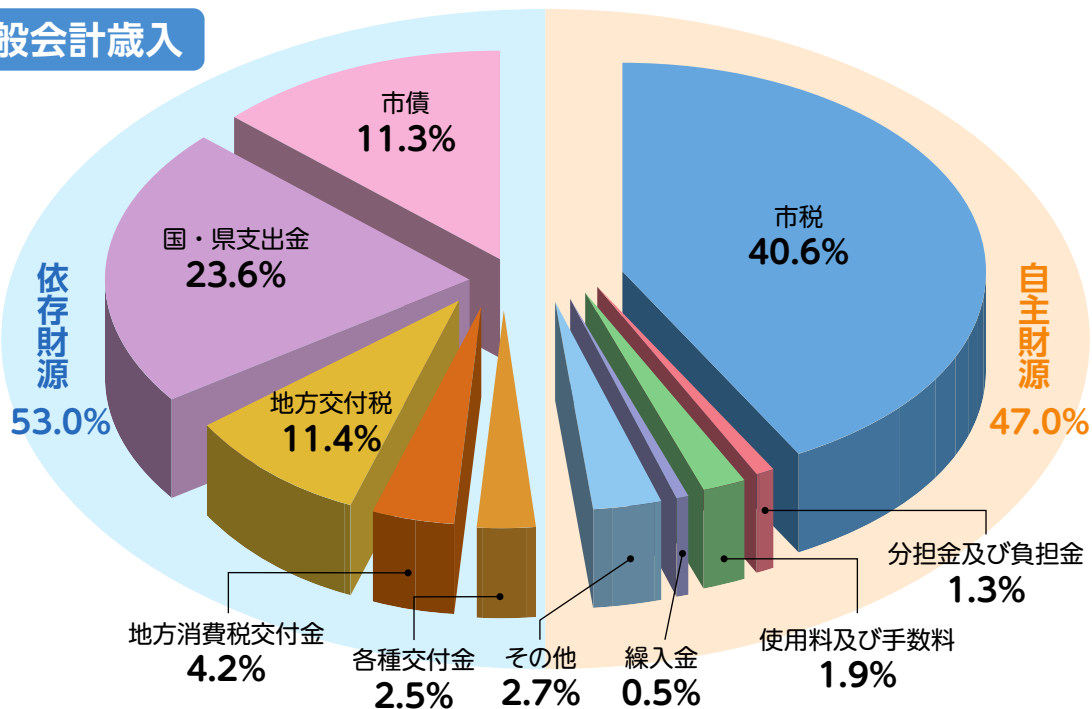
Q

平成27年度の奈良市の歳入は？

A

一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。

一般会計歳入



依存財源

地方交付税	145億5,000万円
みなさんが国に納めたお金の一部です。地方公共団体の財政状況等に応じて配分されます。	
地方消費税交付金	54億円
みなさんが国に納めた消費税の一部です。一定の割合に応じて地方自治体に交付されます。	
各種交付金	30億9,343万円
自動車取得税交付金や利子割交付金など、みなさんが国に納めたお金の一部です。	
国・県支出金	300億3,311万円
みなさんが国に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方自治体へ交付されます。	
市債	143億8,520万円
事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	

自主財源

市税	516億6,935万円
みなさんから奈良市に納めていただく税金です。	
分担金及び負担金	15億9,471万円
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	
使用料及び手数料	24億4,999万円
市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	
繰入金	5億9,598万円
各種基金（市の貯金）を取り崩してお金を使います。	
その他	35億2,823万円
寄付金、不動産売却などの財産収入、前年度からの繰越金などです。	

ポイント

- ④「自主財源」とは市が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。奈良市は5割を切っており、財政的に厳しい状況です。

Q

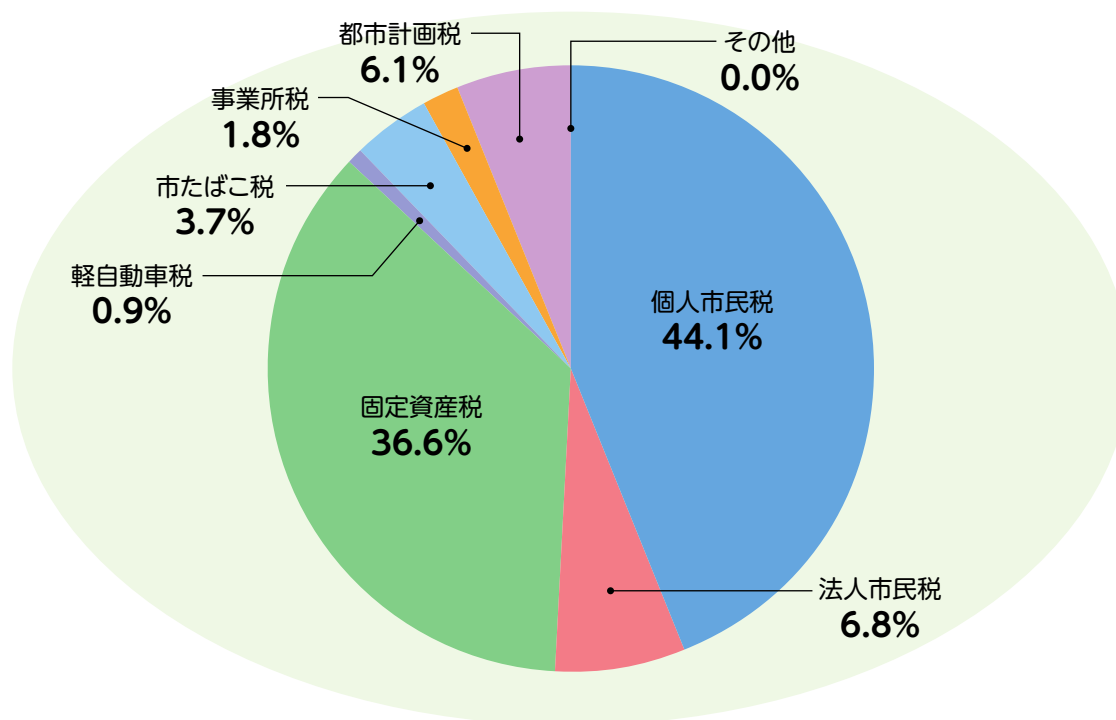
市税にはどのようなものがあるのですか？

A

奈良市の市税には以下のものがあります。

【平成27年度予算】

個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	227億8,095万円
法人市民税	奈良市内の会社が収益などに応じて納める税です。	35億705万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税です。	189億1,614万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	4億5,016万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	18億9,562万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税です。	9億3,450万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。	31億7,827万円
その他	特別土地保有税、入湯税があります。	666万円



Q

国・県からのお金は何に使われるのですか？

A

道路や学校など普段みなさんが利用する多くの公共施設の建設や整備などに使われています。

歳出編

Q

どんな目的の歳出があるのですか？

A

福祉、教育や土木など15の目的の歳出があります。

議会費

0.6%

市議会の運営に必要な経費です。

7億7,414万円

総務費

12.1%

市役所の全体的な仕事に必要な経費です。

153億2,776万円

民生費

42.1%

社会福祉や児童福祉などに必要な経費です。

535億6,036万円

衛生費

8.3%

医療や環境保全などに必要な経費です。

105億7,787万円

労働費

0.1%

労働者の福祉や支援に必要な経費です。

1億2,913万円

農林水産費

0.4%

農林水産業の振興や普及に必要な経費です。

5億5,643万円

商工費

1.2%

商工業の振興や育成などに必要な経費です。

15億7,887万円

観光費

0.8%

観光産業の振興などに必要な経費です。

9億5,954万円

土木費

7.0%

各種公共施設の整備などに必要な経費です。

88億6,934万円

消防費

3.7%

防災、消防、救急、災害対策に必要な経費です。

47億2,351万円

教育費

10.0%

学校教育、社会教育などに必要な経費です。

127億1,197万円

災害復旧費

0.0%

自然災害などで被災した施設の復旧経費です。

3,900万円

公債費

13.7%

借入したお金の返済に必要な経費です。

174億598万円

諸支出金

0.0%

ほかの支出に含まれない経費です。

3,610万円

予備費

0.0%

緊急の支出に充てるために必要な経費です。

5,000万円

ポイント

- ⑤一般会計1,273億円のおよそ42%が民生費となっています。これは、保育所の運営など児童福祉や生活保護、その他社会福祉施策などにかかる経費です。

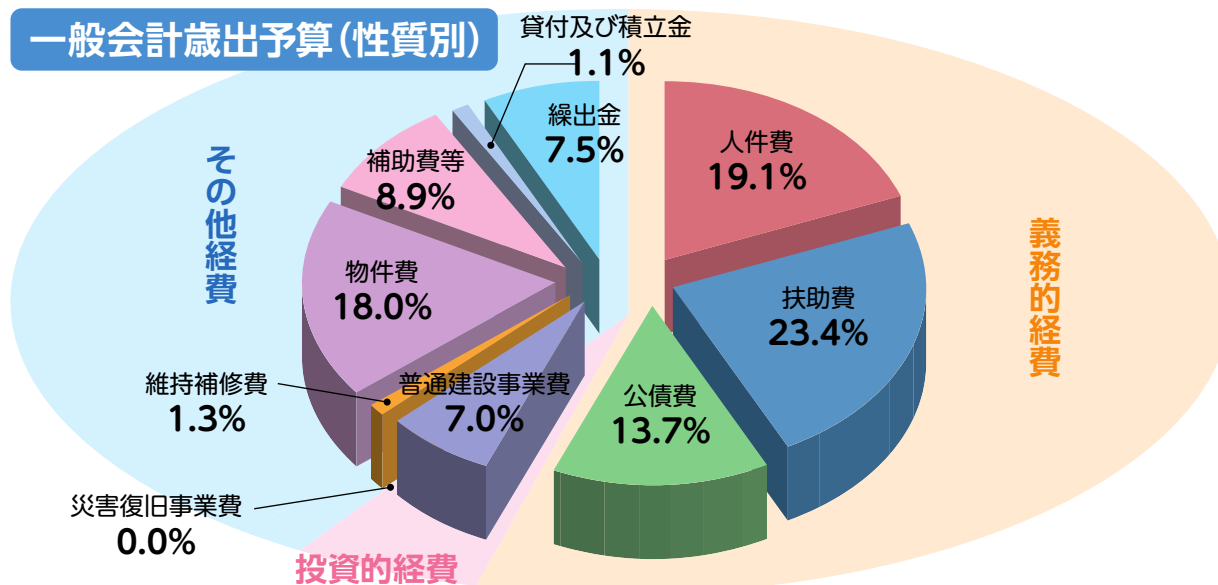


人件費はどのくらいの割合なのですか？

A

目的別の歳出を性質に分けると、
人件費が約2割を占めていることが分かります。

一般会計歳出予算(性質別)



【義務的経費】

714億6,680万円

人件費	242億5,249万円
扶助費	298億 848万円
公債費	174億 583万円

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。
これらの費用は毎年必ず支出しなければなりません。

【投資的経費】

89億3,294万円

普通建設事業費	88億9,394万円
災害復旧事業費	3,900万円

道路や学校など公共施設の改築や改修、災害時の施設
復旧などを行うための経費です。

【その他経費】

469億26万円

維持補修費	16億 7,581万円
物件費	229億4,069万円
補助費等	113億 5,957万円
貸付及び積立金	13億 7,859万円
繰出金	95億4,560万円

施設の維持管理のための維持補修費、光熱水費・消耗
品費などを含む物件費などがあります。繰出金は一般
会計から特別会計へ支出するお金です。

ポイント

- ⑥目的別や性質別など違う角度から見ることで、奈良市の現在の状況や、どんな分野に力を注いでいるかなどを知ることができます。

主要事業編

観光を中心とした地域の魅力・経済の向上

奈良町を核とした観光振興

担当：奈良町にぎわい課

奈良町南観光案内所の運営 奈良町にぎわいの家の運営

4,068 万円

奈良町の魅力を高めるため、新たな観光の拠点をオープンし、さらなる誘客を図ります。

財源内訳

使用料等	400 万円	一般財源	3,668 万円
------	--------	------	----------



インバウンド戦略

担当：観光戦略課／観光振興課

総合観光案内所の機能強化(外国人向け多言語対応) QRコードによる観光案内板等の多言語化 宿泊施設支援制度(外国人おもてなし環境整備補助) 新興国プロモーション／台湾向け誘客 ツーリズムEXPOジャパン出展

9,197 万円

海外からの観光客の更なる誘致のため、特に東アジア・東南アジア諸国をターゲットとした奈良市のPRや観光客受入態勢の充実、滞在型の観光開発に取り組みます。

財源内訳

国庫支出金	7,610 万円	一般財源	1,587 万円
-------	----------	------	----------



奈良の食ブランド化

担当：奈良ブランド推進課

大和茶PR事業／古都華ブランド化戦略 大和茶・日本酒海外戦略／奈良市の食×観光PR

2,450 万円

特産である大和茶、いちご「古都華」、日本酒の認知度向上、販路開拓・拡大をめざします。

財源内訳

国庫支出金	200 万円	一般財源	2,250 万円
-------	--------	------	----------



インバウンド…外国人旅行者を自国へ誘致することです。観光庁によると、2014年に日本を訪れた外国人旅行者は1,341万4千人で前年比29.4%増加し、2年連続で最高を更新しています。

※一般財源とは、市税など使途が特定されず、どのような経費にも使用できる財源のことです。

※平成26年度3月補正予算で成立し、平成27年度に行う事業を含みます。

東部地域振興

担当：奈良ブランド推進課／月ヶ瀬行政センター地域振興課

アウトドアツーリズムの推進
RVパーク施設整備 他

1,450 万円

地域の豊かな里山資源、農村資源を活かしたアウトドアレジャーや地域主体による6次産業化の取組を推進します。

財源内訳

地方債	550 万円	一般財源	900 万円
-----	--------	------	--------



観光の振興

担当：観光振興課

春日大社第六十次式年造替関連事業の実施・誘客

2,000 万円

PR装飾物の設置、シンポジウムの開催等春日大社の理解を深める事業を実施することで、式年造替を盛り上げ、宿泊観光客の誘致を行います。

財源内訳

	一般財源	2,000 万円
--	------	----------



起業家支援

担当：商工労政課

奈良市起業家ステップアップ支援事業補助金(店舗改修支援)
起業家支援施設機能強化事業

1,580 万円

奈良発のビジネスが生まれる環境を作ることで起業家を増やし、安定した雇用と若者世代の定住化につなげます。

財源内訳

国庫支出金	1,580 万円	
-------	----------	--



アウトドアツーリズム…自然の多様性や環境を活用し、アウトドアスポーツという新たなモチベーションを持った旅行者を取り込んでいくことです。

RV:Recreational Vehicle(休暇・楽しみのための自動車)…日本語で「キャンピングカー」と呼ばれる自動車に相当します。RVパークとはモーターホーム(キャンピングカー)で旅行をする人が必要な施設やサービスが整ったRV旅行者には必須のアウトドア用滞在施設です。

文化・スポーツの振興

担当：東アジア文化都市推進課

東アジア文化都市事業推進

1億900万円

文化庁事業である「東アジア文化都市2016」の国内候補地として、伝統文化・現代アート等東アジアの多様な文化を発信するイベントを行います。

財源内訳

国庫支出金等	6,650万円	一般財源	4,250万円
--------	---------	------	---------

文化・スポーツの振興

担当：スポーツ振興課

鴻ノ池陸上競技場内装改修／鴻ノ池運動公園活性化

5,750万円

陸上競技場の内装改修工事、公園内にLED街灯の増設等を行います。

財源内訳

地方債	5,050万円	一般財源	700万円
-----	---------	------	-------



奈良の魅力拡大

担当：観光戦略課

第三回珠光茶会の開催

1,200万円

古都奈良を体感できる世界遺産を含む社寺や「ならまち」のお茶室を会場にして、身体も心も温まるお茶席をお届けします。

財源内訳

		一般財源	1,200万円
--	--	------	---------



H25年度から実施し、本年度は三回目となります。

奈良の魅力拡大

担当：観光戦略課

まほろば観光大学の運営

1,050万円

観光分野で世界に通用する人材の育成を行うことで、観光マネジメントスキルやホスピタリティを向上させ、観光産業全体のレベルアップを目指します。

財源内訳

		一般財源	1,050万円
--	--	------	---------



まほろば観光大学…昨年度は平成27年2月に開校(3日間)。薬師寺まほろば会館で、「グローバル視点で奈良観光をみる〜リニア時代における観光事業の在り方〜」をテーマに、元観光庁長官や東京ステーションホテル総支配人等の著名な講師陣を招き、観光産業や奈良の魅力についての講義を行いました。

安心して子育てのできる環境づくり

次世代を見据えた公教育改革

担当：学校教育課

フューチャースクール構想の実証

3,985 万円

子どもたちの学力向上、思考力・判断力・表現力などを育成するため、小学校にはタブレット端末を、中学校にはタブレット端末併用型パソコンを導入します。

財源内訳

諸収入	50 万円	一般財源	3,935 万円
-----	-------	------	----------



次世代を見据えた公教育改革

担当：学校教育課

外国語指導助手の増員（19人→26人）

6,850 万円

ALT（外国語指導助手）を小中学校に配置し、外国語（英語）に触れる機会を充実させ、国際化時代に対応できるグローバル人材を育成します。

財源内訳

	一般財源	6,850 万円
--	------	----------

学校給食の充実

担当：保健給食課

地産地消の推進（モデル校での自校炊飯）

1,960 万円

地産地消を推進するため、9小・中学校をモデル校として、市内産米での自校炊飯を実施します。

財源内訳

	一般財源	1,960 万円
--	------	----------



子育て支援

担当：子ども政策課

保育所・幼稚園のこども園化の推進

4,190 万円

市立保育所と市立幼稚園のそれぞれの良いところを生かしながら、その両方の役割を果たすことができる就学前の子どもの施設“市立こども園”化を推進します。

財源内訳

地方債	4,190 万円	
-----	----------	--



子育て支援

担当：地域教育課

全バンビーホーム開所時間延長（18時→19時）

7,896万円

バンビーホームの開所時間について、ニーズが高い土曜日の保育時間を延長します。また、保護者の就労形態の多様化に対応し、午後7時までの延長を全ホームで実施します。

財源内訳

一般財源	7,896万円
------	---------

子育て支援

担当：子育て相談課

里親支援の推進

313万円

様々な事情があって、家庭での養育が困難になった子どもを家庭環境下で養育する里親制度の推進、その啓発活動に取り組めます。

財源内訳

一般財源	313万円
------	-------

循環型社会を目指して

担当：道路維持課／企画総務課

街路灯のLED化
陶磁器製食器類リユース・リサイクル

3億2,050万円

蛍光灯街路灯をLED照明に転換することで、環境負荷の低減や豊かな自然環境の保全をさらに進めます。平成27年度は1万灯のLED化を実施します。また、ごみ減量及び資源の有効利用を目的とした陶磁器のリユース・リサイクル事業を開催します。

財源内訳

地方債	3億1,800万円	一般財源	250万円
-----	-----------	------	-------



街路灯をLED化すると・・・

①省エネ効果：消費電力は40%以上削減 蛍光灯の約5倍の長寿命 ②地球環境への配慮：CO2排出量…蛍光灯に比べると1灯あたり40%以上削減
奈良市は平成24年度から市内の水銀灯のLED化に取り組んでいます！

安心・安全で住民の活力あふれるまちづくり

住みたくなる街

担当：奈良ブランド推進課

三世代同居・近居住宅支援／シティプロモーション
空き家バンク設置 他

4,080万円

子育てファミリー等市外からの転入者に対する住宅購入・改修支援、空き家を活用したリフォーム改修支援、魅力的な街づくり施策を展開します。

財源内訳

国庫支出金	4,080万円
-------	---------

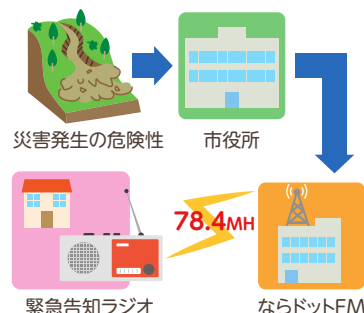
防災に強いまちづくり

担当：危機管理課／河川課／消防総務課

緊急告知ラジオ放送設備等導入 消防団装備の拡充・消防団員用被服の充実 貯留浸透施設整備／準用河川大門川改修

2,761 万円

災害時の迅速な情報伝達手段として、避難所関係者等に緊急告知ラジオを提供します。その他、消防団の装備の充実や近年のゲリラ豪雨等に備え浸水対策等を行います。



財源内訳

地方債等	699 万円	一般財源	2,062 万円
------	--------	------	----------

公共施設の耐震化・長寿命化

担当：管財課／こども園推進課／道路建設課／公園緑地課／教育総務課

明治小学校校舎改築／あやめ池小学校校舎改築 公園施設長寿命化計画策定 他

17 億 530 万円

平成27年度末には学校施設の耐震化がおおむね完了する予定です。また、公共施設の損傷や変状を早期に発見し、安全・円滑な施設の管理を行います。



財源内訳

国庫支出金	16億131万円	一般財源	1億399万円
-------	----------	------	---------

学校園の耐震化率：
平成26年度末約89%⇒平成27年度末約97%(予定)

新斎苑整備

担当：新斎苑建設推進課

新斎苑整備に係る各種調査（環境影響評価・用地測量）

3,100 万円

周辺環境との調和や機能性と安全性を重視した新斎苑建設に向けて、平成26年度に着手した土質調査に引き続き、環境影響評価や用地測量業務を行います。平成32年度の完成をめざします。

財源内訳

	一般財源	3,100 万円
--	------	----------

緊急告知ラジオ…災害時に地域FM局が出す特別な電波信号で自動的にスイッチが入り、大音量で情報を流すラジオ。ライトも同時に点灯し、聴覚障害者も災害の発生を知ることができます。風雨が強くて戸外の防災無線が聞こえない時や就寝中も災害情報が伝わります。

健康長寿の推進

担当：医療政策課

健康長寿施策推進のための基礎調査

2,800 万円

将来的な医療費の削減・抑制を念頭に、健康長寿に向けた施策推進のため、レセプトや健診結果の分析・アンケート調査等を行います。

財源内訳

一般財源	2,800 万円
------	----------

健康長寿の推進

担当：協働推進課／スポーツ振興課／健康増進課

奈良市ポイント制度／健康スポーツポイント
Sma NARA 健康プロジェクト

1,880 万円

市主催の事業等に参加し、健康づくりや社会貢献をしながらポイントを貯め、貯めたポイントを様々な特典に交換できる奈良市ポイント制度を実施します。

財源内訳

国庫支出金	380 万円	一般財源	1,500 万円
-------	--------	------	----------



健康長寿の推進

担当：健康増進課

胃がんリスク検診
糖尿病等生活習慣病重症化予防対策

880 万円

胃がんになる危険度を判定する胃がんリスク検診の受診費用の一部をポイントで助成します。また、糖尿病等生活習慣病について相談窓口を開設し、重症化の予防を図ります。

財源内訳

一般財源	880 万円
------	--------

地域包括ケア・福祉の推進

担当：長寿福祉課

高齢者見守りネットワーク
行方不明高齢者 GPS 導入／認知症対策事業

1,136 万円

認知症等で行方不明になる可能性のある方を事前に把握し、万が一の際は、早期に捜索し保護できる体制を整えます。また、認知症相談窓口を西部公民館にも増設し本人や家族の方にカウンセリングを行います。

財源内訳

国庫支出金等	665 万円	一般財源	471 万円
--------	--------	------	--------



地域包括ケア・福祉の推進

担当：保護第一課／障がい福祉課

精神障害者医療費助成
生活困窮者自立支援事業

8,767万円

精神障害者保健福祉手帳1級所持者に対し、医療費の一部を助成します。また、生活にお困りの方からの自立に向けた相談等を行う自立相談支援事業を行います。

財源内訳

国庫支出金等	5,857万円	一般財源	2,910万円
--------	---------	------	---------

快適な都市基盤の整備

担当：教育総務課／道路建設課／道路維持課

通学路・交通安全施設の整備
(歩道整備、ゾーン30)

1億170万円

小学校周辺における通学路の危険箇所の抽出を行い、通学路整備等子どもたちの安全対策を行います。

財源内訳

国庫支出金等	9,360万円	一般財源	810万円
--------	---------	------	-------

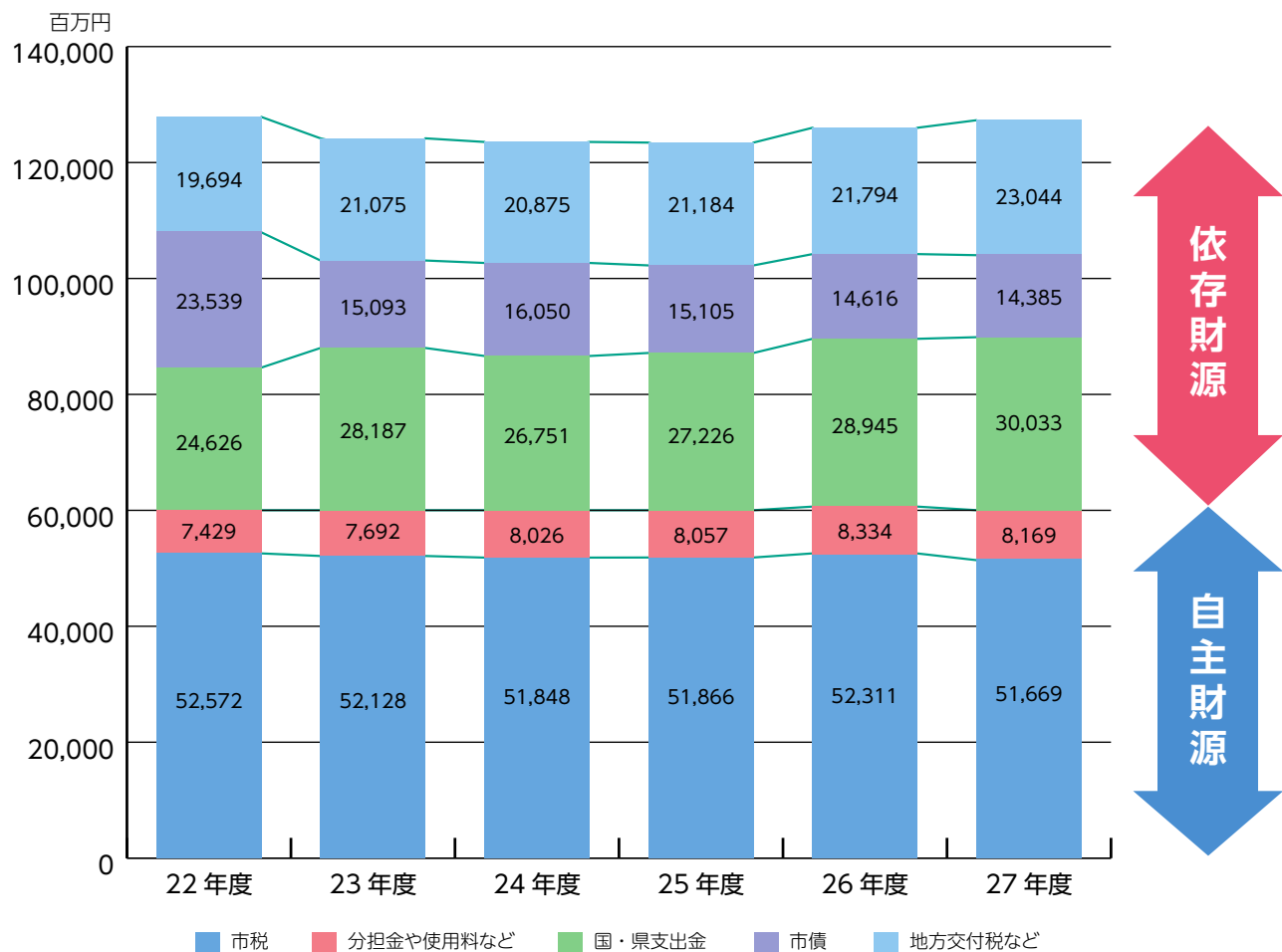


「ゾーン30」…生活道路の安全を確保するため、一定の区域内の道路の最高速度を30km/hに規制しています。市内に6地区設置しています。

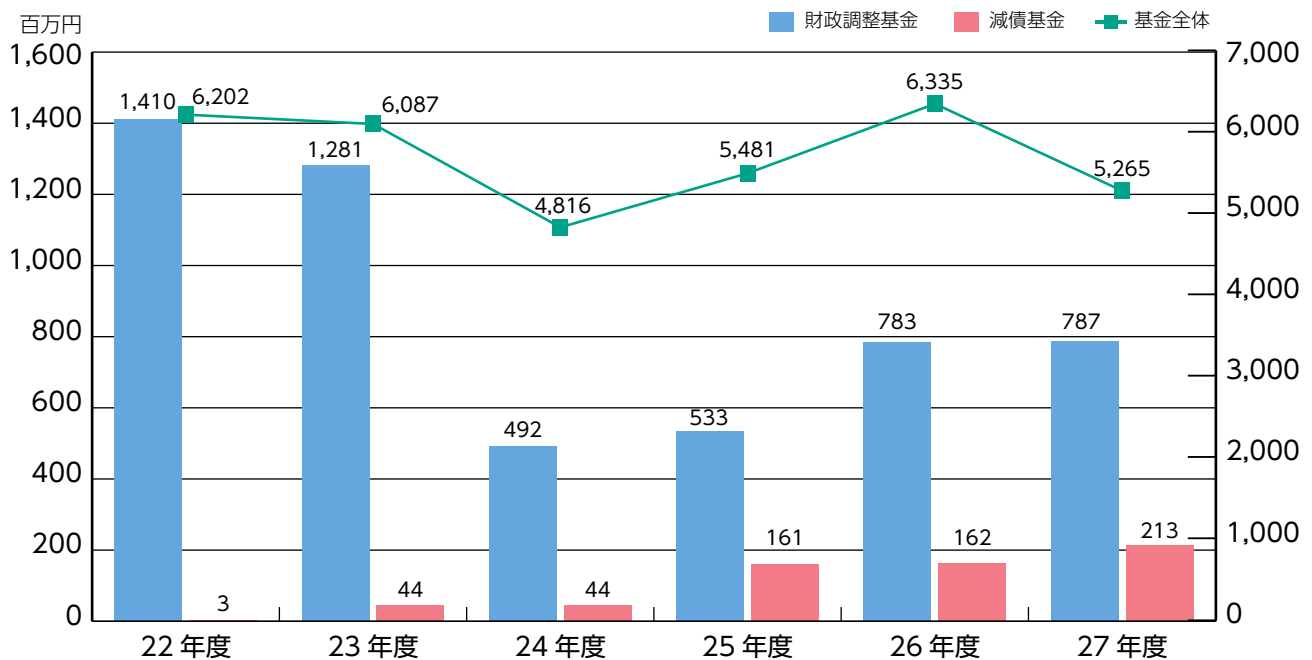


資料編

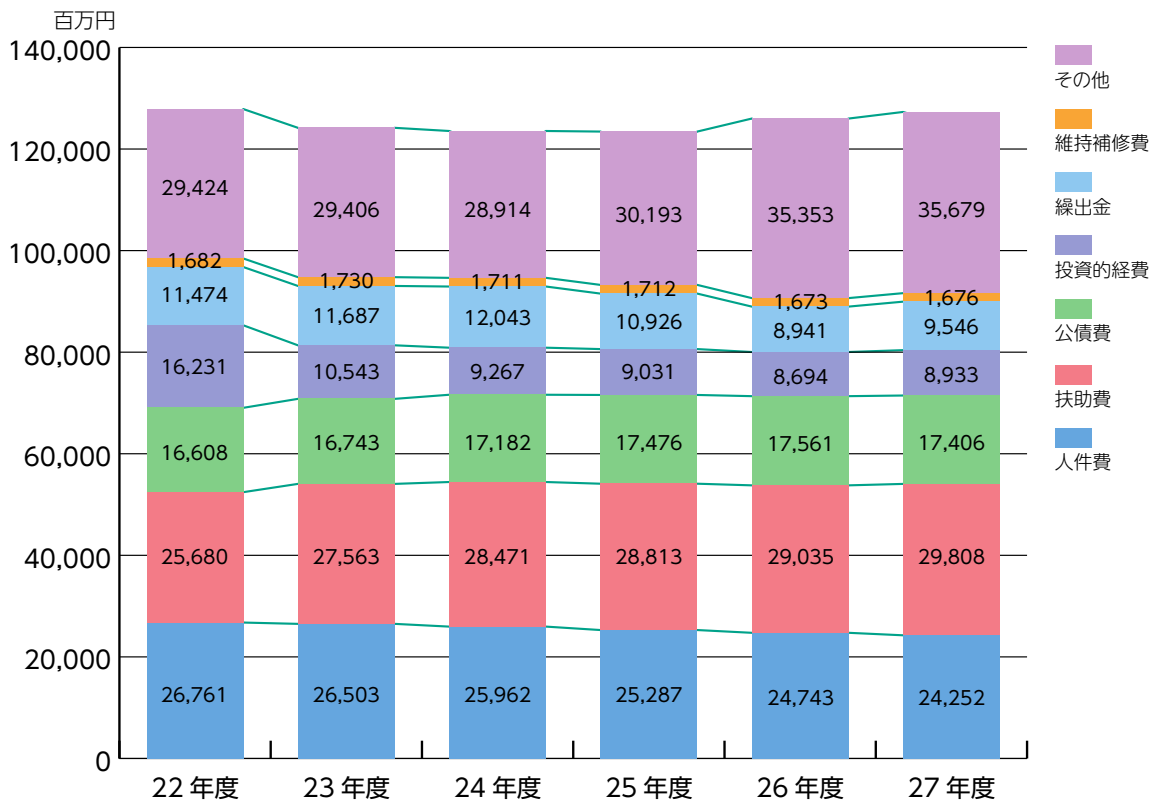
(資料1) 歳入予算の推移



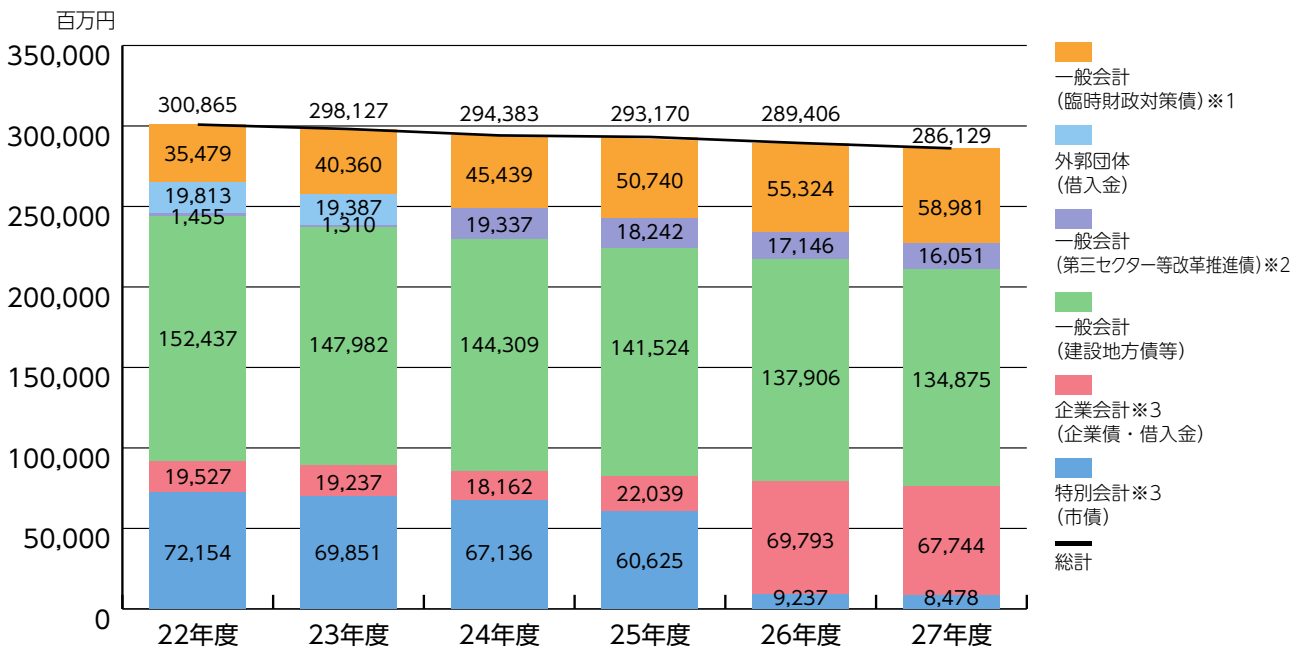
(資料2) 基金残高の推移



(資料3) 歳出予算の推移



(資料4) 市債等債務残高推移(一般会計、特別会計、企業会計、外郭団体)



※1 臨時財政対策債：本来、国から地方自治体に交付されるべき地方交付税の財源が不足しているために市が代わりに発行している市債で、国の財源不足を市が立て替えるものです。この元利償還金は後年度に地方交付税として全額財源措置されます。

※2 第三セクター等改革推進債：借金を抱えた土地開発公社の負担を将来へ先送りしないために、平成24年度に約 173 億円の借入れ（返済期間 20 年）を行いました。これにより、市は 20 年間で約 86 億円の費用の節減効果が図れます。

※3 下水道事業：平成 26 年度からは下水道事業が特別会計から企業会計に変わったために、それらの残高が逆転しています。



奈良市のわかりやすい予算書

☐発行 奈良市
☐お問合せ 奈良市 財務部 財政課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
電話 0742-34-4720 FAX 0742-34-4755